

# ふるさとと教育で育む「ふくら愛」

豊かな歴史、伝統・文化や自然に恵まれた福井県。県では、子どもたちが好奇心や探求心を持ち、積極的に地域と関わる活動を通して地域への理解を深め、郷土に誇りや愛着を持てるよう、「ふるさと教育」を推進しています。

## 郷土の先人に学ぶ

人口減少やグローバル化が進む中、福井の未来を拓くためには、地域を担い活躍する人づくりが重要です。

県では、子どもたちが福井の将来や自らの将来を考えるきっかけとなるよう、福井ゆかりの先人の業績やエピソードなどをまとめた冊子を教材として作成。県内すべての中学生・高校生に『ふるさと福井の先人100人』を、小学生に『心のノート』を配布するなど、子どもたちの成長過程にあわせたふるさと教育を展開しています。

## 住んでいる地域を知る

小中学校では、総合的な学習としてふるさと学習を進めています。市や町など自分たちの住む地域を知るため、子どもたちが住民の皆さんと関わりながら地域の課題を発見し、改善案などを考える活動を行っています。

## 《ツアーで地域の魅力を発信》

足羽小学校(福井市)では、地区の魅力を調べて発信する活動をしています。5年生は、足羽山にある動物園で自らが飼育員となり動物を紹介するツアーを

開催。事前に飼育体験をして学んだことを説明しました。6年生は、地域の皆さんから話を聞いた寺社などの史跡を案内する観光マップを作成しました。

## 《地域の活性化を考える》

敦賀南小学校(敦賀市)の6年生は、市内の観光地をPRするパンフレットを作成。修学旅行先の京都で現地の大学生に向けて、赤レンガ倉庫や気比神宮などの観光地や名産品を紹介しました。また、敦賀市の観光担当職員や観光団体の皆さんに対し、自分たちで考えた市内の活性化案を発表しました。

## 《地域資源の大切さを学ぶ》

有終南小学校(大野市)では、大野の豊かな水について調べ、資源を守る活動をしています。3年生がきれいな水に生息する魚「イトヨ」について学習し、4年生は木瓜川の掃除や水質調査を行いました。5年生は田植えや稲刈りを体験。大野の水が地域でどのように使われているかを学びました。

## 初開催！福井ふるさと教育フェスタ

県内各地の学校の取り組みを幅広く紹介し、子どもたちの学習意欲を高めるため、県では「ふるさと学習ニュース」を発行しています。各学校のほか、県や市町の図書館でもご覧いただけます。

2月7日の「ふるさとの日」にあわせ、翌8日に「福井ふるさと教育フェスタ」を福井市内で初開催。細呂木小学校(あわら市)、今富小学校(小浜市)など7校がふるさと学習の活動を発表したほか、子どもたちが伝統芸能を披露しました。

また、県内42校のふるさと学習もパネルで紹介し、南越中学校(越前市)の生徒が越前和紙の魅力や祭りの継承についてまとめたポスターなどを展示。参加者は互いの地域の素晴らしさを再確認する機会となりました。

◎義務教育課(小中学生のふるさと学習)  
☎0776・20・0575 FAX20・0671  
◎教育政策課(福井ふるさと教育フェスタ)  
☎0776・20・0295 FAX20・0668



ふるさと学習ニュース



伝統芸能 八田獅子舞(福井ふるさと教育フェスタ)



イトヨを観察(有終南小学校)



京都の大学生に敦賀をPR(敦賀南小学校)



ふるさと学習の活動を発表(今富小学校)